

## 令和6年度第1回沖縄県地方創生推進会議 議事要旨

### 1 開催日時

令和6年9月3日（火） 10:00～12:00

### 2 場所

八汐荘 屋良ホール

### 3 議題

- (1) 令和5年度デジタル田園都市国家構想交付金事業の効果検証について  
デジタル田園都市国家構想交付金を活用した事業の取組結果及び事業評価に関して説明し、委員による事業評価を実施した。

#### 【大城会長】

目標値と実績値を比べて、評価していると思うが、目標値というのは令和5年度までの目標値なのか、令和4年度から令和6年度までの3か年事業の最終的な目標値なのか。

#### 【事務局 諫山主幹（企画調整課）】

資料2の目標値については、令和5年度までの取組に対する目標値となる。一方、最終的な目標値は、資料4のKPIの当初値に目標値累計を加算した値になる。

#### 【崎間委員】

資料1（6）沖縄県離島・過疎地域づくりDX促進事業に関して、相談者に対してどのようなフォローをしているのか教えていただきたい。

#### 【事務局 日置班長（地域・離島課）】

本事業は、移住定住促進プロモーションという形で色々な情報発信、モニターツアー等を実施している。

移住相談については、本事業以外の移住定住に関する取組による相談も含まれており、相談者からの引き続きの質問等については、移住コーディネーターや職員にて適宜フォローしている。

**【津波古委員】**

資料1（6）沖縄県離島・過疎地域づくりDX促進事業の移住に係る相談342件に対し、（8）沖縄県移住支援・マッチング支援事業での移住した世帯数が0となっているが、両事業はどのような連携があるのか。

**【事務局 古我知班長（地域・離島課）】**

移住に係る相談は、移住コーディネーターにおいて、相談者の条件等を聞いた上で、どの事業に該当するか確認し、事業への展開を行っている。

なお、（8）沖縄県移住支援・マッチング支援事業に関しては、東京23区内からの移住者という制限があり、実績は0となっている。

**【鯨本委員】**

資料1（6）沖縄県離島・過疎地域づくりDX促進事業に関して、移住定住促進のきっかけとして子育て環境の充実は重要であるが、高齢者見まもりの取組が導入された背景を教えてください。

**【事務局 日置班長（地域・離島課）】**

デジタル技術を活用した地域課題の解決として、令和4年度から実施している。令和4年度の事業立ち上げ当初は、高齢者見まもり支援とオンライン学習塾の二本立てで、事業を実施したところ。

令和5年度から、地方創生推進タイプを活用するにあたり、デジタル技術を活用した移住定住促進を図っていくため、移住定住プロモーションを実施したところである。

**【中島委員】**

資料1（7）スタートアップ創業支援事業に関して、投資家やベンチャーキャピタルとのマッチング件数8件の投資額について教えてください。

**【事務局 久保田班長（産業政策課）】**

8件は、投資を受けた企業数ではなく、投資家やベンチャーキャピタルとのマッチングした件数となっている。

**【宮里委員】**

資料1(6) 沖縄県離島・過疎地域づくりDX促進事業に関して、離島の塾を運営している事業者に対しての補助金だと思うが、自治体が塾を運営している方々を探してくるスキームなのか。

**【事務局 日置班長（地域・離島課）】**

オンライン学習塾の事業者の募集については、令和5年度までは希望する市町村を募った上で、県の方で一括して事業者募集を行っていた。

令和6年度からは、各市町村から事業者に募集いただくスキームに変更している。令和7年度についても、実施を希望する市町村をこれから募集する予定である。

**【大城会長】**

議事のあった8事業については、表記のとおりの評価でいいということで了承したい。

(異議なし)

閉会